

2026年1月29日
SCSK株式会社

AWS IT トランسفォーメーションパッケージ for MCP SCSK版で ファイルサーバ マイグレーション エディションを提供開始 ～現状分析から移行後の最適化、セキュリティ強化も AI を活用しトータルサポート～

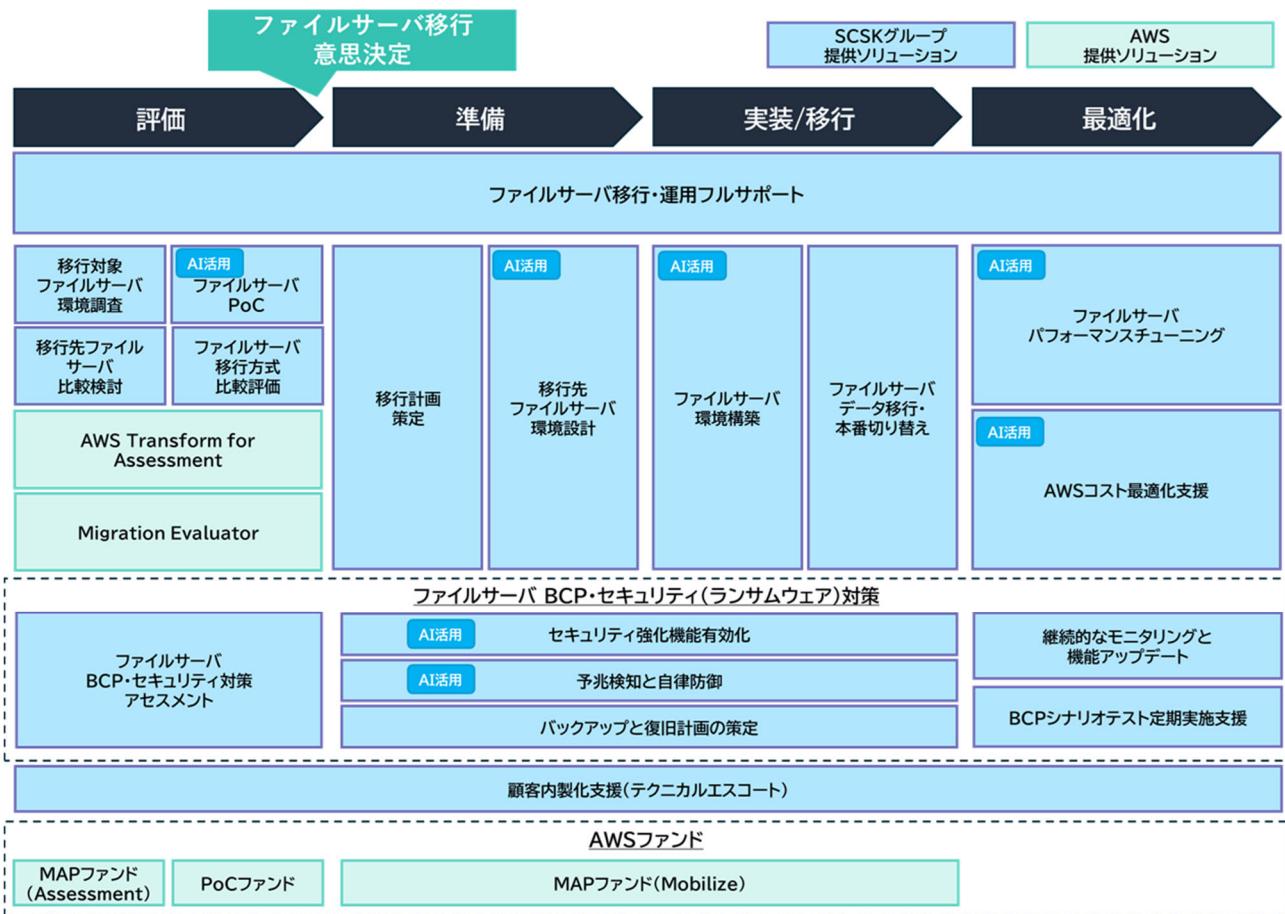
SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社(以下 AWS ジャパン)と連携して提供する「AWS IT トランسفォーメーションパッケージ for MCP(Migration Competency Partner) SCSK版」(以下 ITX)において、ファイルサーバ移行に特化した「ファイルサーバ マイグレーション エディション」を2026年1月から提供開始します。本サービスは、「複雑な移行をワンストップで任せたい」というお客様のニーズに応える形で開発され、生成AIをはじめとするAI技術を活用し、現状分析から移行後の安定運用・最適化、BCP(事業継続計画)対策、ランサムウェア対策まで一気通貫で支援します。

1. 背景

ファイルサーバ移行の検討は、多くの場合、ハードウェアの保守終了(EOL)やライセンス期限切れといった「老朽化」が直接的なきっかけとなります。現場では、容量不足が発生するたびに古いファイルを削除してしぶなど、運用負荷が高まっており、柔軟に拡張可能なクラウドへの移行ニーズは年々高まっています。また、経営層から「クラウド活用」の方針が示される一方で、現場にはクラウド移行の知見がないだけでなく、クラウドへのファイルサーバ移行においては、長年蓄積された膨大なデータの棚卸しや、複雑な権限設定の再現など特有の難しさもあり、高度な専門性が求められています。加えて近年は、多様化する働き方に合わせたデータアクセスの柔軟性確保や、ランサムウェアをはじめとするサイバー攻撃への対策、事業継続計画(BCP)の観点からも、データ管理のあり方が見直されています。SCSKは、これまで多くのお客様のファイルサーバを AWS へ移行した豊富な実績から、ワンストップでファイルサーバ移行に特化して現状分析から移行後の最適化までを一気通貫で支援する本パッケージサービスを開発しました。

2. 本サービスの特徴

本サービスは、お客様の状況に合わせて柔軟にサービスを組み合わせることが可能な包括的ソリューションです。AI技術を積極的に活用し、移行プロセスの各フェーズを強力にサポートします。また、お客様の状況に応じて必要なサービスのみ選択することも可能です。



- 評価フェーズ: 現状分析と最適な移行先の選定

既存のファイルサーバ環境を調査し、移行対象ファイルサーバの利用状況を整理します。その上で、AWS が提供する評価ツール「Migration Evaluator・AWS Transform」や AI エージェントツール「Kiro CLI」を最大限に活用し、お客様のビジネス要件に合致した最適な移行先と方式を選定します。PoC(概念実証)を通じた事前の検証評価も行い、移行リスクを低減します。

- 準備・実装/移行フェーズ:計画から本番稼働まで一気通貫で支援

選定した移行先ファイルサーバや移行方式に基づき、詳細な計画を策定します。

移行プロジェクトの体制構築や移行期間とコスト、作業中や完了後のリスクまで検討・計画し、移行状況を継続的にモニタリングすることで安全にファイルサーバを移行します。「Kiro CLI」および AWS ファンド活用により、工数削減やコスト抑制を実現します。

- 最適化フェーズ: 移行後の安定運用とコスト最適化を実現

クラウド環境へのファイルサーバ移行を完了して終わりではなく、「想定よりコストが高い」「レスポンスが遅い時がある」といった移行後の課題に対し、継続的に対処し最適化していくことが重要です。

SCSKでは、Kiro CLI をはじめとする AI サービスも活用し、こうした課題解決を支援します。アクセス頻度に応じたストレージの自動階層化によるコスト削減や、パフォーマンス監視に基づくボトルネックの特定・

改善、監査ログの分析によるセキュリティ強化など、お客様のファイルサーバ環境の安定運用とコスト最適化を両立します。

- **BCP・監査/セキュリティ(ランサムウェア)対策**

ファイルサーバの運用において、ランサムウェア対策と事業継続計画(BCP)は、情報システム部門にとって最重要課題の一つです。しかし、日々の運用に追われ、対策が後手に回ってしまっているケースも少なくありません。本サービスは、攻撃の予兆を常時監視し、被害発生前に通信遮断やアカウント無効化といった対抗策を自動実行します。さらに、万が一の事態に備え、「誰が、何を、どう動かすか」を定めた実用的な復旧計画の策定や、計画を形骸化させないための「データの防災訓練」までを一気通貫で支援します。AWS の最新セキュリティ機能に常に追随し防御壁をアップデートし続けることで、単なるデータ保護ではなく、事業を止めないための「生きた防御体制」を構築し、未来の脅威からお客様のビジネスを守ります。

- **内製化支援:お客様の自律的なファイルサーバ移行と運用をサポート**

自社でファイルサーバの移行および移行後の運用・改善をご検討されているお客様に対し、AWS スキル教育を含め、内製でプロジェクトを進められるよう支援します。「Kiro CLI」をはじめとする最新 AI エージェントツールの活用ノウハウも提供し、お客様組織における AWS ファイルサーバ環境の自律的な構築・運用体制の確立に貢献します。

(参考)AWS IT トランسفォーメーションパッケージ for MCP SCSK 版 一覧

大規模・重要システムのデータベース移行にも対応したサービスを IT トランسفォーメーションパッケージで提供開始
～移行前評価から移行後の最適化まで、豊富な実績と AI 活用で支援～

<https://www.scsk.jp/news/2025/pdf/20250331i.pdf>

AWS IT トランسفォーメーションパッケージ for MCP SCSK 版でデータベース領域での支援サービスの提供を開始

～ Amazon Aurora/Amazon RDS の活用を促進～

<https://www.scsk.jp/news/2024/pdf/20240821i.pdf>

「AWS IT トランسفォーメーションパッケージ for MCP SCSK 版」がクラウドネイティブに対応

～ 生成AIの積極的な活用によりお客様の業務変革を支援 ～

<https://www.scsk.jp/news/2024/pdf/20240508.pdf>

AWS IT トランسفォーメーションパッケージ for MCP SCSK 版

オンプレミス環境から AWS への移行を支援

<https://www.scsk.jp/news/2023/pdf/20230420.pdf>

SCSKグループ技術戦略

SCSKグループは、「共創 IT カンパニー」の実現に向けた取り組みを加速するため、技術戦略「技術ビジョン 2030」を推進しています。「技術ビジョン 2030」では、先進デジタル技術の最大活用による事業構造の変革（デジタルシフト）や生成 AI の活用による飛躍的な生産性向上の実現を目指すとともに、蓄積してきた知財を活用した製品・サービス開発を推し進め、お客様や社会、生活におけるさまざまな課題解決に対応していきます。

・SCSKグループ技術戦略「技術ビジョン 2030」

https://www.scsk.jp/sp/technology_strategy/index.html

本件に関するお問い合わせ先

【サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

IT インフラサービス事業グループ

クラウドサービス事業本部 クラウドサービス第二部

クラウドサービス事業本部 事業推進部 クラウド営業課 武藤

E-mail: cbdc-all@scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。